

先週のマーケット動向(10月31日～11月4日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,423.0	1,429.6	1,414.6	1,419.2	▲2.3
JPY/KRW	9.6110	9.6681	9.5550	9.5957	▲0.115
KOSPI	2,293.75	2,348.43	2,273.73	2,348.43	+80.03

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は動意に乏しい展開。31日のドル/ウォンは1,423.0ウォンでオープン。序盤は流動性が低くボラタイルな動きとなったものの、外国人投資家による韓国株買い等ありウォン高となるも、中国10月製造業PMI（結果：49.2、予想：48.7）を嫌気した人民元売りが進行すると、ドル/ウォンも上昇した。さらに海外時間には著名なFEDウォッチャーが米政策金利の最高到達点が前回FOMCの予想（4%後半）を上回る可能性についての観測記事を出したこと等あり、1日はドル/ウォンは週高値1,429.6ウォンまで上昇。3日未明のFOMCではパウエルFRB議長による利上げ終了を検討することは時期尚早との発言を受け、米金利が上昇したものの、韓国については外国人投資家による株買いが粘り強く入り、ドル/ウォンの上昇は限定的。結局、先週末対比2.3ウォン下落した1,419.2ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値の重い展開を予想。良好な米雇用指標に加え欧州でのインフレは不変であるものの、一部に米利上げ速度緩和を期待する向きも強く、米金利は中短期ゾーンを中心に上昇しにくい状況が続いている。さらに、韓国においては好調な企業決算を背景に外国人投資家による株買いが継続的に入っており、ウォン買いが強い印象だ。来週以降も10月米CPI等、米金利上昇が意識される材料はあるものの、引き続きドル/ウォンはやや下落する展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1390 ~ 1420	9.40 ~ 9.65	146.0 ~ 148.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 7日(月) 中 10月 貿易収支 確定値
- 8日(火) 韓 9月 国際収支 速報値
- 9日(水) 韓 10月 失業率 確定値
- 中 10月 PPI 確定値
- 中 10月 CPI 確定値
- 日 9月 国際収支 速報値
- 10日(木) 米 10月 CPI 確定値
- 11日(金) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値